

平成26年度 大同大学卒業研究
愛知ブランド企業(株式会社中外陶園)広報PR動画

幸せの招き手



大同大学 上岡研究室

D11001 青島 大志

D11026 近藤 寿樹

D11027 齊藤 亮介

研究企業 株式会社中外陶園



株式会社中外陶園様は1300年のやきものの伝統と歴史に根ざした街、瀬戸市にあり、創業以来「薬師窯」の窯銘で干支置物、招き猫、雛人形、五月人形を始め、縁起置物や四季折々の季節飾りなどを得意とする陶磁器工芸メーカーです。

陶磁器置物のトップメーカーとして、デザイナーを育成し、ブランドコンセプトに基づき、企画、デザイン、販売を一貫して行い、約1000種類の商品を持っています。

社是に「心に届くやきものづくり」、社訓に「誠意 創意 熱意」を掲げており、染付や錦彩仕上げなど、こだわりのやきものを一貫生産する須原陶磁工房を製造の核として、長年培われた伝統のやきものを、時代にふさわしい感性でお客様の心にお届けしている。



PR動画コンセプト

中外陶園様がおお客様の幸せの招き手であるということを伝える動画です。中外陶園様のものづくりは職人の方の「手」によって招き猫をはじめとした様々なやきものを作るところから始まり、自社で製造したやきものなどを販売するおもだか屋ではお客様と直接「手」をかわし、若手と先輩の職人の間ではその「手」で技術が継承されていく。お客様や社員すべての人の幸せを願う暖かくも力強い企業、中外陶園様をその「手」にクローズアップしたPR動画を通し、今後もその「手」で幸せを渡していくことを伝えていく。

イメージターゲット

①社員

②女性

高校生、大学生

猫を飼っている、または猫が好き

雑貨、インテリアが好き

訴求要素

- デザイナー育成
 - 先輩職人から伝統の技術の継承
 - デザインから販売まで一貫して行なう
-
- 製品1：招き猫
 - 製品2：季節もののやきもの
 - 『幸せ』
 - 『手』

映像

職人の方の作業の映像、音で90秒間十分に魅せられると感じられたため、ナレーションを極力少なくし、作業の音も効果的に使用。ナレーションを減らす事で、多いものより熟練された、集中した雰囲気を演出できると考えました。映像の流れとしては、順を追ってやきものが作られていく様子を映しています。また、BGMについては前半は職人の方の伝統の技術の凄みを感じられるようなもの、後半はやきものが作られるまでに携わった職人の方の幸せの思いが溢れ出るようなものを使用しました。

Special Thanks

音声 田中麻世

カメラアシスタント 石川優子

照明 鍋倉康介

製作 TA 福井通生